

令和4年9月

小林市議会定例会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、去る7月7日、本市出身で、本市の果樹栽培の発展や観光果樹園設立による地域農業の発展及び担い手の育成に貢献するとともに、民生委員・児童委員として地域住民に寄り添った支援活動に尽力し、小林市及び宮崎県の民生委員児童委員協議会会長、小林市社会福祉協議会会長などの要職を歴任された種子田 與市氏が逝去されました。

氏の永年におたるご功績は極めて大きく、去る平成29年11月8日付けで、瑞宝双光章を受章されております。

この度、逝去されましたことは、誠に痛恨の極みであり、ここに種子田 與市氏の在りし日をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、氏の永年におたるご功績をたたえ、
功労市民として決定いたしたく、今期定例会
において関係議案のご提案をさせていただい
ているところであります。

それでは、現在の市政運営に係る主な取り
組み等について、ご報告をさせていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策に
ついてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、
県内において、オミクロン株の B A . 5
系統を中心とする感染拡大が急速に進み、
地域医療が崩壊する危機に直面していること
から、県は、去る 8 月 1 1 日に、ひっ迫した

医療提供体制を守るため、県独自の「医療非常事態宣言」を発令したところでもあります。

本市におきましても、これまでにない爆発的な感染拡大が続いていることから、市内における各種イベント等の開催の延期をお願いするとともに、市民の皆様に対し、更なる感染予防対策の徹底について啓発を行ったところでもあります。

今後、医療提供体制の維持に努めるとともに、市民の皆様への命と健康を守るため、引き続き最大級の警戒感をもって、小林市の基本的対応方針に基づき、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいります。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種につきましても、3回目接種に加え、60歳

以上の方等を対象とした4回目接種及び5歳から11歳までの方を対象とした小児接種を引き続き実施しているところでございますが、西諸医師会や医療従事者の皆様方のご尽力により、西諸地区は県内で高い接種率を維持しているところであります。

今後は、国が実施を調整しておりますオミクロン株対応ワクチン接種につきまして、本市といたしましてもその動向を注視しながら、県、西諸医師会その他関係機関との連携のもと、市民の皆様が安心して円滑に接種していただけるよう、引き続き万全の体制で取り組みを進めてまいります。

次に、防災対策についてであります。

去る7月15日の大雨につきましては、

早朝から猛烈な雨に見舞われたことから、災害警戒本部を設置し、市内の一部の地域に対し「避難指示」を発令するなど警戒に当たりましたが、道路などが被災したものの、幸い大規模な災害は発生しなかったところであります。

また、同日には、気象庁が本市を含む九州全域に、翌16日の午前中にかけて「線状降水帯」が発生する可能性があるとの予報を発表したことから、引き続き情報連絡本部を設置し、市内全域に「高齢者等避難」を発令するなど警戒を続けてまいりましたが、幸い本市に「線状降水帯」は発生しなかったところであります。

なお、今シーズンにおきましても、全国各地で記録的な大雨に伴う大規模な災害が

発生しており、本市でもいつ同様の災害が発生してもおかしくない状況にあることから、引き続き地域防災計画を基本として、新型コロナウイルス感染症対策にも十分に配慮しながら、危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

次に、地方創生の取り組みについてであります。

現在、本市のファン獲得や関係人口の増加、郷土愛の醸成につなげていくことを目的に、市民総ぐるみで本市の魅力を発信する「ハッシンコバヤシ！！」と銘打ったプロモーションを展開しているところです。

この取り組みの一環といたしまして、去る7月19日に、市の魅力を全国に伝えて

いただく「こばやしスペシャルPR大使」の任命式を宮崎空港で行い、本市出身のお笑い芸人である蛙亭・イワクラ様をはじめ4人の方々を同大使に任命いたしました。

任命式の様子は、多くのメディアに取り上げられ、早速、本市の認知度向上に寄与していただいたところであり、今後、大使に就任した方々が、「ハッシンコバヤシ！！」を強力に推進する一員となってご活躍いただけるものと期待をしているところであります。

また、去る7月29日には、小林高等学校、小林秀峰高等学校及び小林西高等学校の各校3人、計9人の生徒を高校生記者に任命し、「ハッシンコバヤシ！！高校生記者クラブ」を発足いたしました。

高校生記者となった生徒達は、早速、地域や学校の取材を開始し、「広報こぼやし」の9月号から、コーナーの一部を担当しているところであり、今後は、SNSなどのメディアを活用した独自の情報発信も検討することとしております。

この取り組みを通して、市内の高校生に本市の魅力を再認識してもらうとともに、その若い感性により、市内外の多くの方々に本市の魅力が発信されることを、期待するものであります。

次に、健幸のまちづくりについてであります。

本市の最重要施策と位置付けております健幸のまちづくりにつきましては、市民の

歩くことの習慣化に重点を置いた「こぼやし健幸ポイント事業」など、昨年度に引き続き各取り組みを展開しているところでもあります。

また、10月23日には、これまで50回の歴史がある「こぼやし大運動会」を大きくリニューアルし、新たなスポーツイベントとして、「第51回健幸こぼやし大運動会～スポレク2022～」を開催いたします。

より多くの市民に参加していただき、スポーツを楽しみながら、心と体の健康づくりにつなげていただきたいと考えているところでもあります。

次に、経済対策についてであります。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化

する中で、市民の皆様や事業所等は、原油価格や物価の高騰にも直面しており、本市の経済は、依然として大変厳しい状況が続いているところです。

このような中、市内における消費の喚起及び経済循環を促す目的で、プレミアム付商品券事業及び宿泊者クーポン券発行事業に継続して取り組んでいるところであります。

この商品券及びクーポン券をいち早く利用していただくことで、市内の経済活動が活発に行われることを期待するものであります。

次に、畜産業の振興についてであります。

10月6日から10日にかけて鹿児島県で開催されます第12回全国和牛能力共進会に

つきましては、去る8月2日と6日に小林地域家畜市場で県代表牛決定検査が行われ、本市からは、小林秀峰高等学校の出品牛1頭を含む6頭が県代表牛に選ばれたところであります。

全国和牛能力共進会において、本県が4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞することは、畜産農家の団結力の更なる向上、未来の担い手の育成にもつながり、また、「日本一の宮崎牛」として、今後のシティーセールスを有効に展開できるものと考えているところであります。

引き続き、「日本一の努力と準備」のもと、関係機関一体となって、本市の県代表牛の生産者を積極的に支援してまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

議案第64号から議案第74号まで、以上11件につきましては、令和3年度小林市一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、議会の認定に付するものであります。

令和3年度各会計の決算につきましては、水道事業会計を除き、黒字又は収支均衡での決算となりました。

以下、主なものにつきまして、概要を申し上げます。

議案第64号令和3年度小林市一般会計歳入歳出決算の認定につきましては、歳入

総額 3 2 4 億 9 , 1 3 8 万 9 , 2 7 0 円、
歳出総額 3 1 4 億 5 5 2 万 6 , 0 2 2 円と
なりました。

歳入歳出差引額は 1 0 億 8 , 5 8 6 万
3 , 2 4 8 円で、翌年度へ繰り越すべき財源
を差し引いた実質収支額は 9 億 2 , 3 4 2 万
9 , 3 2 6 円となりました。

前年度と比較いたしますと、歳入歳出
差引額は約 4 億 6 , 0 0 0 万円の増となり
ましたが、翌年度へ繰り越すべき財源が
約 1 , 0 0 0 万円の減となりましたので、
実質収支額は約 4 億 7 , 0 0 0 万円の増と
なったところでございます。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス
感染症対策に取り組んだことなどにより、

過去2番目に大きい決算規模となりましたが、ハード事業として、社会資本整備総合交付金事業費約6億円、防災拠点施設整備事業費約8,000万円を支出し、ソフト事業として、ふるさと納税推進事業費に約6億5,000万円を支出するなど、「第2次小林市総合計画」の将来都市像の実現に向けた各種施策を推進してまいりました。

歳入につきましては、前年度と比較いたしますと、県支出金が約7億3,000万円、寄附金が約7億円、それぞれ増額となった一方、国庫支出金が約23億円、繰入金が約17億円それぞれ減額となりました。

なお、市債残高は約287億円で、前年度と比較いたしますと約11億円の減となりました。

また、定額運用基金を除いた基金残高は、約 65 億円となり、前年度と比較いたしますと約 9 億円の増となりました。

次に、財政指標でございますが、財政の柔軟性を示す経常収支比率につきましては、前年度と比較いたしますと 3.7 ポイント改善し、90.8 パーセントとなりました。

この主な要因は、普通交付税及び臨時財政対策債の増によるものであります。

なお、健全化判断比率につきましては、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれも健全性は維持されています。

今後も、新型コロナウイルスの感染拡大による財政への影響が歳入歳出の両面で懸念されるなど、厳しい財政運営が続くものと予測されますことから、「行政の効率化に向けた取り組み」と「重要課題への対応」を両立していくため、引き続き、行財政改革を着実に実行し、財政の健全化に努めてまいります。

議案第65号令和3年度小林市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、歳入総額64億7,928万9,443円、歳出総額63億819万1,843円となり、歳入歳出差引額は1億7,109万7,600円となりました。

なお、歳出の大部分を占める保険給付費につきましては、前年度と比較いたしますと、

2億2,558万6,748円、率にして5.3パーセントの増となりました。

今後も、特定健康診査の受診率の向上や、保険税収納率の向上に向けた取り組みを更に強化し、国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営に努めてまいります。

議案第69号令和3年度小林市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、歳入総額60億6,926万6,033円、歳出総額59億1,681万32円となり、歳入歳出差引額は1億5,245万6,001円となりました。

令和3年度は、高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づき、制度の円滑な運営に努めました。

また、地域包括支援センターを中心に関係機関が連携し、要介護者が自立した日常生活を営むことができるよう包括的な支援を行いました。

議案第72号令和3年度小林市水道事業会計決算の認定につきましては、収益的収入8億925万9,865円、収益的支出8億6,189万6,868円となり、当年度純損失は5,263万7,003円、当年度未処理欠損金は2億2,714万5,704円となりました。

議案第73号令和3年度小林市下水道事業会計決算の認定につきましては、収益的収入5億8,565万7,284円、収益的支出5億5,890万6,935円となり、

当年度純利益は2,675万349円となりました。

議案第74号令和3年度小林市病院事業会計決算の認定につきましては、収益的収入27億5,835万3,095円、収益的支出27億2,811万4,423円となり、当年度純利益は3,023万8,672円、当年度未処理欠損金は12億3,001万8,643円となりました。

議案第75号令和3年度小林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分につきましては、令和3年度において生じた当年度未処分利益剰余金2,675万349円を全額処分することについて、議会の議決を求めるものであります。

議案第76号令和4年度小林市一般会計補正予算第7号につきましては、歳入歳出それぞれ7億1,840万9,000円を増額し、予算規模は284億762万3,000円となります。

まず、歳入につきましては、国県支出金、市債等を追加計上いたしました。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、先端科学技術導入の実証事業に要する費用等を計上するものであります。

民生費につきましては、三世代同居等を目的とした転入・転居を行う共働きの子育て

世帯に対する補助金等を計上するものであります。

衛生費につきましては、特例浄化槽設置整備事業補助金の増額等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、燃油価格・配合飼料の高騰に直面する畜産農家に対し、臨時給付金を支給するための費用等を計上するものであります。

商工費につきましては、老朽化した観光施設の維持管理に要する費用等を計上するものであります。

土木費につきましては、公園の衛生環境の改善を図るための費用等を計上するもので

あります。

教育費につきましては、緑ヶ丘公園市営野球場の照明施設をLED照明に改修するための費用等を計上するものであります。

災害復旧費につきましては、台風等により被災した農地、農業用施設、道路、河川等の復旧に要する費用を計上するものであります。

なお、職員人件費につきましては、それぞれの費目で所要額の調整を行うものであります。

また、農地農業用施設災害復旧事業費（補助）ほか1事業につきましては、やむを得ない事情により年度内での完了が見込めませんので、予算執行の適正化を図るため、

繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第77号令和4年度小林市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号につきましては、令和3年度事業の精算に伴う県支出金の返還金等を計上し、歳入歳出それぞれ1,332万4,000円を増額するものであります。

議案第78号令和4年度小林市介護保険事業特別会計補正予算第2号につきましては、令和3年度事業の精算に伴う国庫支出金の返還金等を計上し、歳入歳出それぞれ8,394万2,000円を増額するものであります。

議案第79号令和4年度小林市後期高齢者

医療事業特別会計補正予算第2号につきましては、令和3年度事業の精算に伴う一般会計への繰出金等を計上し、歳入歳出それぞれ5,571万5,000円を増額するものであります。

議案第80号令和4年度小林市水道事業会計補正予算第3号につきましては、収益的支出において、訴訟関連委託料及び人事異動による給料等の増に伴う営業費用435万円を増額するものであります。

議案第81号令和4年度小林市下水道事業会計補正予算第2号につきましては、収益的収入においては、消費税還付金の増加に伴う営業外収益55万1,000円を、収益的支出においては、管渠及び処理場修繕費等の支出の増加に伴う営業費用等606万

1, 000円を増額するものであります。

議案第82号令和4年度小林市病院事業会計補正予算第2号につきましては、収益的支出においては、原油価格の高騰に伴い灯油代の不足が見込まれることから、医業費用490万円を増額するものであります。

資本的収入においては、委託料の財源として企業債370万円を、資本的支出においては、遠隔読影システムの更新に伴い、委託料377万3,000円を増額するものであります。

議案第83号職員の育児休業等に関する条例の一部改正につきましては、職員の育児休業の取得要件の緩和等を行うため、所要の改正を行うものであります。

議案第 8 4 号 小林市特別会計条例の一部改正につきましては、西諸地区いじめ問題対策専門家委員会に関する予算を令和 5 年度から市の一般会計において処理するため、所要の改正を行うものであります。

議案第 8 5 号 小林市使用料の徴収に関する条例の一部改正につきましては、緑ヶ丘公園市営野球場の照明施設を改修するとともに、同公園市営テニスコートの老朽化した照明施設を撤去したため、所要の改正を行うものであります。

議案第 8 6 号 公の施設に関する条例の一部改正につきましては、小林市保健センターを公の施設として設置するため、所要の改正を行うものであります。

議案第 87 号西諸地区いじめ問題対策
専門家委員会共同設置規約の変更につきましては、
同規約を変更することに関し、えびの
市及び高原町と協議をすることについて、
議会の議決を求めるものであります。

議案第 88 号市道路線の認定につきましては、
西ノ原 6 号線の認定について、議会の
議決を求めるものであります。

議案第 89 号市道路線の廃止につきましては、
石坂ノ下線の廃止について、議会の議決
を求めるものであります。

議案第 90 号功労市民の決定につきましては、
故・種子田 與市氏を小林市功労市民に
決定することについて、議会の同意を求める

ものであります。

諮問第2号及び諮問第3号人権擁護委員の候補者の推薦につきましては、永井 良雄氏及び牟田 昭三氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、議会の意見を求めるものであります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、今後、新たな予算措置等が必要となった場合につきましては、引き続き本市の状況を十分に見極めながら、速やかに関係議案を提案させていただくこととしております。

以上、よろしくご審議のほどお願いをいたします。